METRO AD REVIEW

話題のしかけの舞台裏

かつてない意表を突く広告展開 ［映画『プロメテウス』旧表参道駅プロモーション］

あるはずのない駅。謎の物体。乗客だけが目撃できる“旧駅”広告。

掲出期間：2012年8月6日（月）～12日（日）

映画「プロメテウス」プロモーション広告

20世紀フォックス映画

そのとき、車内にどよめきが…。

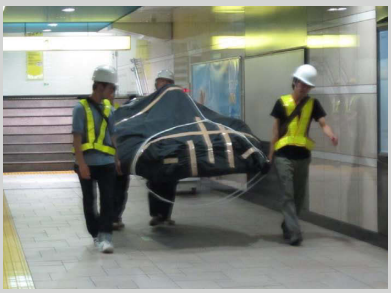
真っ暗な地下鉄の窓の外…え？ 今、あるはずのない駅を通過した!? 銀座線に謎の駅が出現！ ――様々なWEBサイトやテレビの情報番組、フェイスブックやツイッターなどのSNSで話題になったこのニュースは、映画『プロメテウス』のプロモーション広告。表参道から渋谷へ向かう途中にある今は使われていない旧表参道駅を復活させ、青白く照らされる駅と巨大な顔のオブジェが現れるという意表を突いた演出。期間中、知らずに乗って驚いた乗客に、プロモーション目当てで乗った別の乗客が説明したというツイートまで流れていた。フランスで「地下鉄にプロメテウス駅を登場させる」という企画が生まれたのを受け、日本でもぜひ同様のプロモーションを実現しようと現場スタッフがあらゆる廃駅を当たり、最後にたどり着いたのが旧表参道駅だったという。2007年に地下鉄開通80周年記念として現在は閉鎖されている銀座線の“幻の新橋駅”を公開するイベントがあったが、広告メディアとして旧駅が使われた事例は日本初。映画自体のコンセプトでもある“謎”めいた前代未聞の企画が、多くの人の心を捉えた。

映画への興味を加速させるインパクト。

旧表参道駅に突如登場した駅、その名も『ミステリーステーション』は、長さ18m。謎めいた光の中に浮かぶ巨大オブジェは映画のポスターやチラシなどに使われているイメージで、高さ2.2m、幅1.42m、オブジェの背景部分は幅4m。設置・運搬費も含めた総製作費は2,000万円と、この夏一番のミステリー超大作にふさわしい大規模なプロモーションとなった。実施前の7月には1ヶ月間、表参道駅をはじめとする17駅の「Uボード・ゴールド」を活用して告知を行い、『ミステリーステーション』実施期間は「窓の外を見よ!」という銀座線のまど上広告で誘導を図ったり、表参道駅で臨時集中貼りを展開した。

映画のプロモーションは一般的な商品広告やブランディングと基本的な性質が異なる。それぞれの作品に合ったコンセプトに落とし込み、話題を広げて、短期間で公開初日に向けてテンションを上げていく施策。今回の『ミステリーステーション』はまさしく、映画への興味をヒートアップさせる強力なインパクトを与えたに違いない。

「プロメテウス」プロモーション広告設置風景



旧表参道駅へ向かう謎のオブジェ

設置は深夜、ひっそりと行われた

青白いライティングで映画の世界観を表現

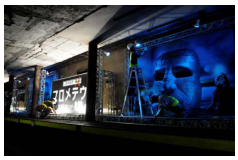
METRO AD REVIEW

話題のしかけの舞台裏

その企画で映画のコンセプトが伝わるのか？ニュースや話題ネタになるのか？

フランスで地下鉄に「プロメテウス駅」を出現させようとしているらしい、と本社経由で聞き、フランス以上に地下鉄が日常化している日本でこそ、この映画のコンセプトである“謎”を切り口に実現させたいと思いました。駅探しはかなり難航しましたが、結果的に話題性抜群の最も良い場所で実現できたと思います。春から劇場での宣伝展開は始まっていましたが、7月からはTVCMや新聞などのマス広告もスタートさせており、さらにはメトロ利用の皆様には「Uボード・ゴールド」を展開しておりましたので、映画ファンの間ではじわじわと認知が上がっていた時期でした。ただ、いよいよ8月からは一気に一般の幅広い方にまで浸透させて、その後の先行上映や公開初日に繋げたいタイミングでしたので、“【人類最大の謎】に迫るこの夏必見のミステリー超大作”としてさらに大きく打ち出す起爆剤になったと思います。結果、テレビの情報番組や新聞各紙をはじめ、160以上のウェブサイトでご紹介いただけたこともあり、フェイスブックやツイッターでも大いに盛り上がり、直後の先々行上映ではチケットが完売する劇場も出てきました。

映画のプロモーションは期間が短く、時間をかけてブランドを作ることとも違う、瞬間風速的な力が必要ですが、どんなに面白いアイデアでも作品のコンセプトに結びつかなければ意味がありません。今回なら“謎”という切り口で、通常の広告効果以上にニュースバリューを付加できるかが課題でした。実施の許諾から僅か3週間という困難なスケジュールでも実現できたのは、この企画に携わった関係各社の熱意とご尽力の賜物と、心から感謝しております。また、社内でも宣伝プロデューサーを筆頭にクリエイティブやパブリシティとのチームワークでこそ実現できたことです。ミステリーステーションはご覧になっていない方も、映画は絶賛公開中ですので、是非劇場でこの壮大な【ミステリー】をお楽しみ下さい!



“史上初”の企画、場所、技術など･･･を通して、話題につなげる。様々な“初”にこだわって、これからもプランニングしていきます。

20世紀フォックス映画　マーケティング本部
マーケティング・ストラテジック・プランニング
シニアマネージャー　伊賀 丈将　氏

ミッションは映画の世界観の再現。そのために高いハードルも越えていく。

実施までの難関は各所の許諾でした。駅構内ではすべて燃える素材がNG。風で飛ばないよう20kgの錘を134個、計2トン以上を使って制作物を固定し、ライトもひとつひとつに金網をかけるなど、かつてない安全管理の厳しさでした。一方、映画のイメージに合ったクオリティの高いクリエイティブも必須です。特殊素材で石の質感を出し、事前に現場確認ができない照明は、暗い場所を求めてFOX様の試写室に模型をお持ちしてシミュレーションを重ねました。この企画の斬新さとクライアントの実現への信念が、数々の難題に立ち向かう力をくれたと思います。

今後も“初めて”を望む思いに応えていきます。

協立広告株式会社
常務取締役
渡辺 正章　氏

見る人に「面白い」と思われるとうれしいですね。

協立広告株式会社
第一営業部　第二グループ
茂垣 真弓　氏

キャンペーンのしくみ

今回の媒体は… [表参道駅 臨時集中貼り／Uボード・ゴールド／まど上ポスター]

東京メトロの広告モデル駅としてメディアの種類が充実している表参道駅では、今回の「Uボード・ゴールド」、「臨時集中貼り」以外にも、コンコース内でインパクトのある空間づくりができる11本の「柱巻広告」やB0サイズ8枚を掲出できる「メトロプレミアムセット」、幅20mを超える「ADウォール」など、駅全体のスペースを活用した集中展開が可能です。

■臨時集中貼り（7日間）：2,000,000円／最低料金
（表参道駅実施の料金。掲出する駅によって金額が変わります）
■まど上ポスター（2週間）：1,230,000円／銀座線シングル1枠単価
■Uボード・ゴールド（1ヶ月）：5,681,000円／b期料金
※今回はイベントを組み合わせた展開です。詳細は下記までお問い合わせください。

Metro Ad Agency
発行・お問い合わせ
株式会社 メトロ アド エージェンシー　媒体本部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-21 NBF虎ノ門ビル4階
TEL 03-5501-7835 FAX 03-3593-6150
http://www.metro-ad.co.jp